



渋谷からカッティングエッジな音楽シーンを発信するライブハウス「渋谷 WWW」の音響改修で、パワーアンプに Lab.Gruppen PLM20K44 が 8 台導入されました。(上画像は改修後。写真家：山谷佑介 氏の撮影)



スペースシャワー TV が手がける渋谷 WWW は、2010 年に宇田川町の旧ミニシアター・シネマライズ跡地の地下 1 階にオープン。収容人数 400 名のライブハウスです。「ダブリュダブリュダブリュ」「ダブダブ」など様々な愛称で親しまれ、実力のある若いアーティストが憧れるライブハウスとして知られます。2016 年には同ビル 2 階に収容人数 600 名のライブハウス「WWW X」もオープンし、国内外のアーティストの音を精力的に発信しています。

開業から 13 年目で始めて音響改修をした渋谷 WWW。今回は最終調整で熱気あふれる中でお話をうかがいました。お話をいただいたのは渋谷 WWW 店長 笹倉 和広 氏。そして音響の施工及び導入コンサルタントを務める株式会社トライオーディオ代表 東 (あずま) 雅明 氏のお二人です。

### ブランドの「顔」はそのまま音を刷新

まずは音響機材のプランを立て、Lab.Gruppen を選んでくださった株式会社トライオーディオ代表の東氏にお話をうかがいます。

東様にとって WWW とはどのようなライブハウスなのでしょうか

ここがまだ構想段階で場所も決まっていなかった頃に私は名取 氏 (スペースシャワーネットワーク / WWW の立ち上げ人) と出会いました。WWW は彼のこだわりでできていると言えます。

まずここはライブハウスとしては珍しい形状\*をしています。ぱっと見ただけで他のライブハウスとは違うことが分かります。他にも舞台の床がヘリンボーンの板張りになっているのもこだわりです。使い込まれると黒く塗ったベンキが剥けてかっこよくなりますよ。

\*元は映画館であったため、その形状を活かし、フロアは後方に向けて段差で高くなっている。

機材面では、スピーカーは FUNKTION-ONE。コンソールはアナログの MIDAS Heritage 3000 です。さらに音を良くするためにケーブル類は Van Damme (イギリスのハンドメイドケーブルブランド。アビーロードスタジオにも採用) で、電源はキュービクルを音響用に増設して 230V です。100V だとローがここまで気持ちよく鳴りません。

個性とこだわりが詰まっているのが分かります。そこから始まった改修について教えてください

開業から 13 年経って機材の修理やトラブルも増えてきたということで改修/機材更新の話が出ました。そこで関係者と話をしたところ「FUNKTION-ONE と MIDAS を使っていることが WWW の特徴だ」という意見が多く出ました。



FUNKTION-ONEの最新型を導入することも考えましたが、「今の組み合わせで出る音にWWWのブランド意識を持っている」という関係者の思いもあったため、現在の FUNKTION-ONE を活かした形でリニューアルすることになりました。

まずスピーカーに関しては、リコーンしました。キャビネットはそのままです。これで予算がだいぶ抑えられました。そしてそれまでグランドスタックだったのをフライングしようということになりました。

そして次はアンプです。

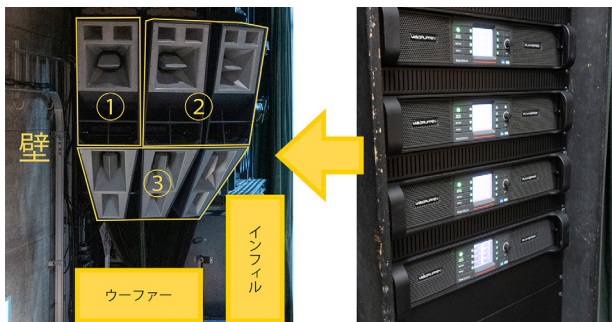
Lab.Gruppen PLM 20K44 に決めた理由は？

FUNKTION-ONE と Lab.Gruppen の組み合わせの音は聴いたことありませんでしたが、想像はできました。

それに加えて

- PLM 20K44 は Lake が使える  
(アンプと Lake を別にご購入よりコストがかからない。  
置き場所も小さくて済む)
- 日本に代理店がある  
(ピーテックにサポートやメンテナンスを任せられる)

というシンプルな理由でした。



PLM20K44 × 4 台を納めたアンプラックがステージ上下に設置され合計 8 台の導入。フライングされたメインスピーカーは片側で 3 つのエリアに分けられ、ウーファーやインフィルと共に PLM20K44 搭載の Lake で調整されている

PLM 20K44 に搭載された Lake に加え、FOH には LM44 がセットされています。それぞれをどう使われていますか？

アンプの Lake はチャンネルデバイダーとして、FOH にある LM44 は外部からオペレーターが来たときのための EQ として使ってもらっています。



PLM 20K44 の音はいかがですか？

「普通」ですね。

厳しいお言葉を頂戴しました

でもこの「普通」になるということは難しいことなんです。料理で例えれば「塩が利いてうまい」というものは塩が多い。「ダシがうまい」というものはダシが強い。では本当にうまいと思ったものはただ「うまい」しか言えません。全てのバランスが良すぎて評価が難しい。「普通」になることが難しいというのはこれに似たことです。これはそういうアンプだと思いました。

しかしキャラクターのあるアンプが欲しいという人もいでしょう。今回は「このキャラクターが欲しい」という選び方はしていません。

予想通りです。やってほしいことをちゃんとやってくれています。

ほっとしました。率直なご感想をありがとうございました！

## 余白や余裕のある鳴り方

続いて店長の笹倉氏にお話をうかがいました。

この度始めてスピーカーをフライングされたということですね

はい。WWW は開店当初からスピーカーをフライングする予定だったんです。天吊りの機構もあったのですが、諸事情があって床置きで稼働させていたんです。

それから 13 年経ってようやく”遂に”吊れる事になりました。うちは客席に段差がありますが、フライングすることで下から上まで満遍なく音が届くようになりました。

WWW はほぼ絶えず営業されていますが、いつ更新を行ったのですか？

あスピーカーのリコーンは 2022 年末。貼り替え中は代替機を稼働させて、入れ替えは 1~2 日間で完了しました。アンプは正月休みに入れ替え、フライングに関しては休館日を活用して営業を止めることなく実施できました。短期間で無駄の無い工程を組んでいたトライオーディオさんに改めて感謝致します。

では Lab.Gruppen アンプについてうかがいます。音を聴かれた感想はいかがですか？

あくまでイメージですが、これまで 100 の力で鳴らしていたものを 70 くらいで鳴らせているような「余白や余裕」のある鳴り方をしていると思います。

これまで WWW は色気 (キャラクター) のある音だと思っていましたが Lab.Gruppen に替えたことで、L-Acoustics のラインアレイを使っている WWW X\* のパキッとした音に少しだけ寄った印象があります。今の時代の音楽性に合うのではないのでしょうか。

\*WWW X は同ビル 2 階にある同系列のライブハウス。収容人数 600 人。メインシステムは L-Acoustics K2, SB28, LA8。

スピーカーのリコーンは音がフレッシュになったという印象でしたが、アンプの入れ替え後は音が変わった印象です。内外からの評判も良く。音に詳しくない人でも分かる変わり方をしたと思います。

ベストなアンプを採用いただけて嬉しいです！

東さん (トライオーディオ) のチューニングも効いています。相当作り込んでくれていますね。東さんは開店当時から携わってくださっています。東さんの耳と腕には多大な信頼を置いています。





調整時の模様

東様も WWW には特別な思いがある様子でしたので、これからさらに良くなっていきそうですね。

音にはゴールがないと思います。完璧なものもないので、これからも満足することはありません。改修後の音に慣れたらさらに良くしようとするでしょうね。

では最後に、これからの WWW の展望を教えてください。

WWW のメンバーで POP YOURS\* という国内最大級の HipHop フェス等のプロモーター事業もスタートさせました。新たな領域にもこれまで得た経験を活かしていきたいです。

\* ポップカルチャーとしてのヒップホップをテーマにしたフェス。2023 年は 5 月 27 日 (土)、28 (日) に幕張メッセ国際展示場にて開催。

<https://popyours.jp/>

ベニューに関しては、WWW が 13 年、WWW X が 7 年目を迎えますが、ベニューを源流に音楽を通じて多種多様な信頼関係を構築しシナジーを生んでいけたらと考えています。

本日はお忙しい中ありがとうございました。

この度のインタビューで、渋谷 WWW は関係者のストイックな思いとこだわりの工夫でできている場所だと感じました。

スピーカーのキャビネットはそのままに、リコーンとアンプの更新によって新たな音に生まれ変わるという改修のスタイルは、予算を抑えることはもちろん店舗のブランディングをキープできるというメリットもあります。これは渋谷 WWW にベストマッチするプランだったと言えるでしょう。今後も進化する音に期待しています。



渋谷 WWW

東京都渋谷区宇田川町 13-17 ライズビル地下

<https://www.shibuya.jp/>

施工及び導入コンサルタント

株式会社トライオーディオ

大阪市浪速区日本橋 4-5-18 アーバンコート日本橋 204

<https://tryaudiojpn.com/index.html>